

概要

テレメータ装置(60MHz帯(音声)・70MHz帯、400MHz帯)

・河川、ダム、砂防及び道路における災害防止及び維持管理に利用するため、**河川流域の雨量、水位、水質や道路気象等の観測データの収集、監視、管理・処理等を行っている。**

これらの**観測データ**は、観測した場所の事務所、管理所等に伝送している。

放流警報装置(60MHz帯(音声))

・**ダム等からの放流**に伴う流水の状況の著しい変化により**危害を及ぼす恐れがある場合**、下流地域に定められた**警報区間**において放流に先立ち河川周辺の住民及び河川に出入りする人々に**警告を与える必要がある。**

・このため、警報区間に設置した放流警報装置において、サイレン音、**スピーカ音、スピーカからの放送及び警報表示等**を行っている。

・放流警報装置の動作確認のため、**パトロール車にてダム管理所との連絡を取りながら巡視**を行っており、**山間部でも活用**して利用している。

使い分け

・70MHz帯では、山や地形の陰にも電波が回り込みやすいため、ダムでの広域の監視制御等で使用している。(局数:約4,000局(令和8年度調べ))

・400MHz帯では、周波数が高いため直進性に優れているため、排水機場の内水および外水の水位など平野部等で使用している。

(局数:約2,000局(令和8年度調べ))

まとめ

・一般的に**アナログ部品は供給が終了する方向**であり、デジタル化は自然な流れと認識

・テレメータ観測装置のデジタルへの設備移行にあたっては、限られた予算事情から耐用年数を見据えた**十分な移行期間を確保**いただきたい。

・そのためにも、**アナログ・デジタルの併用期間における共用条件の検討**といった課題解決もお願いしたい。

